

# くりっぴ

C R E A T I V E   L E A R N I N G   I N F O R M A T I O N   P A P E R

子どもたちの創意ある学習活動をバックアップする情報紙



第6号

平成10年(1998年)  
3月31日発行  
広徳県教育委員会

じっくり、しっっかり、自分さがし  
ひとりが、みんなが、  
いっぱい輝け

一人ひとりが  
自分のよさや可能性を  
みつけ、それを大きく  
伸ばしていけるような  
学校教育をめざし、  
平成10年度から新たに  
義務教育改革に着手  
します。



## 義務教育改革がめざす三つの方向性

一人ひとりのよさや  
可能性を生かし、  
伸ばしていく教育

基礎的・基本的な  
内容をきちんと  
身につける教育

学校・家庭・地域社会が  
十分連携をとった教育

# 義務教育改革の第一歩がスタートします。

子どもたち一人ひとりの個性を伸ばし、  
学ぶ意欲をはぐくむ学校でありたい。

## 義務教育改革のめざすもの

### 1 みんな違って、みんないい

子どもたちは毎日のさまざまな体験を通して、自分の個性を発見し、伸ばしていきます。  
こうした成長の過程において、一人ひとりのよさや可能性を最大限に伸ばしてあげるよう支援していきます。

### 2 基礎・基本の定着

将来その個性が大きく花開くためにも、義務教育段階では基礎的・基本的な内容を確実に身につけることが重要です。ゆとりをもって学習できるような環境づくりを進めることや、一人ひとりにあわせて指導の充実、体験を通して学ぶ機会を増やすなどの工夫に努めます。

### 3 地域に開かれた学校へ

学校、家庭、地域社会が手をつなぎ、協力しあつて子どもたちを見守っているよう、お互いが本音で語りあえるオープンな学校づくりをめざします。  
まずは学校の現状を知っていただくこと、学校に対する意見や要望をお聞きすることから始めます。



## 義務教育改革元年 (平成10年度)

### ニュースクール モデル事業

小学校・中学校それぞれ6校をモデル校に指定し、基礎・基本を身につけるための効果的な指導方法や指導内容、開かれた学校づくりにむけた取り組みについて、実践的な調査研究をおこないます。



外国人の協力による国際理解教育  
(廿日市市立金剛寺小学校)

### 基礎・基本定着状況 調査

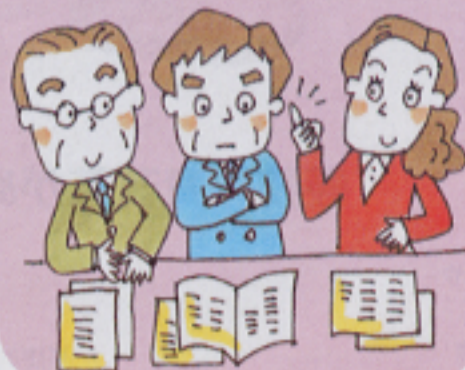
基礎的・基本的な内容の定着状況を把握するために、小学校5年生と中学校2年生から抽出し、実態調査をおこないます。

対象学年	対象教科
小学5年生	国語、算数
中学2年生	国語、数学、英語



### ビジョンの策定

義務教育改革推進にむけた議論の場として、協議会を組織します。各方面の関係者や皆さんからの意見をお聞きしながら、基本理念や目標、施策の方向などを示す義務教育改革ビジョンの早期策定をめざします。



## 聞かせてください あなたの意見

広島県教育委員会では、県民の皆さんからの声を参考にしながら、義務教育改革に取り組んでいきたいと考えています。

郵便 0730-8514 広島県教育委員会 教育企画課  
ファックス 082-224-1122 広島県政もみじファックス FAX082-224-1122 ボックス番号80011  
電子メールアドレス kyouiku@hiroshima-cdas.or.jp

# 子どもも私たち一人ひとりがひかる学校づくり

〈予算からみる広島県の教育〉

## 学校教育の充実をめざして

平成10年度

教育委員会当初予算が  
決まりました。

総額約2、557億円

の予算をもとに

実施される

事業の中から

いくつかを「紹介します」。

教育委員会所管  
255,687百万円

その他  
11,728,925  
4.6%



高等学校費  
67,218,505  
26.3%

中学校費  
56,979,685  
22.3%

小学校費  
103,012,844  
40.3%



### 自ら学び、自ら考える力を育てる授業づくり

子どもたちが自ら考え、主体的に判断し、行動できる資質や能力の育成を重視した新しい学力観に立った教育を進めます。

一人ひとりの状況に応じた学習を実現するために、引き継ぎ小中学校でのチームティーチングや高校での小人数指導などに取組みます。同時に、高校における地域や学校の特色を生かした科目の導入や自主教材の作成など、子どもたちの実態に応じた学習指導の工夫・改善を進めます。



生活科チームティーチング「自分のアルバムをつくろう」(広島市立東川小学校)

### 高校教育改革の継続的推進

メニューが豊富で、学習する内容を生徒自身が選ぶことのできる学校づくりを進めます。そのため、県立高校に総合学科の設置(8校)や自由選択制の導入(4校)を行います。また、実験・実習を伴う授業の一部を施設・設備のある他校で受ける学校間の連携をモデル的に実施するなど、高校教育改革を一層推進していきます。



学校間の授業交流(染色実習)(広島高校と徳島高校)

### 盲・ろう・養護学校に関する「ジョイン」の策定

障害者が障害者として主体的に生きていく力を身につけることを保障し、障害者と健常者が共に生きていく社会の実現をめざして、障害教育の推進を図ります。そのために、盲・ろう・養護学校に関する具体的な施策を総合的に展開していくための指針となる中長期ビジョンを策定し、障害児教育を推進していきます。



小学部「なわとび」(盲学校)



幼稚園「おみせやさんごっこ」(盲学校)

## 育てよう生命の輝きを

豊かな心をもった

子どもたちを育てるために

最近、子どもたちが、ナイフなど刃物を使った事件をおこしたり、被害にあうという痛ましい事件がおきています。こうした事件を防ぐために、私たち大人は、人の命を奪ったり傷つけたりすることは絶対に許されないことをしっかりと教え、同時に子どもたちに不法な刃物などを持たせないようにしなければなりません。

子どもの問題は、私たち大人社会の存り方が問われている問題でもあります。家庭・地域社会・学校を含めた大社会全体を見直し、子どもたちの声をしっかりと受け止めながら、みんな力で力をあわせて子どもたちの豊かな心を育てていきましょう。

◆生命の尊さを語りあおう  
自然や生き物などのふれあいを通して、生命について語りあひましょう。

◆心がふれあう楽しさを共に体験しよう  
ボランティア活動や地域の行事に家族で、一緒に参加し、体験しましょう。

◆善悪の判断や思いやりの心を育てよう  
「良いこと」と「悪いこと」をはっきりと区別しましょう。特に暴力でものごとを解決するのは絶対に許されないことを教えましょう。

◆家庭を子どものやすらぎの場にしよう  
子どもの思いや悩みをしっかりと受けとめてもらえる場、なんでも話しあえる「心の居場所」にしましょう。

◆子どもの言動や持ち物に関心をもちよう  
子どものちょっとした変化にも気づいてやれるよう、語りあひ、ともに過ごす時間をもちましょう。

悩んだ時は力になりたい  
悩み相談ダイヤルなど

県立教育センター  
いじめダイヤル24  
電子メール相談  
TEL 0824-28-2631  
TEL 0824-20-1313  
shidoka@hiroshima-cdas.or.jp

